

病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	AI技術を用いた肋骨骨折のCT検出能に関する後ろ向き横断研究
当院の研究責任者 (所属)	西江昭弘 (琉球大学大学院医学研究科 放射線診断治療学講座 教授)
情報の提供を行う機関	機関名：浦添総合病院 (担当者：村山貞之) 機関名：沖縄県立南部医療センター・こども医療センター (担当者：我那覇文清) 機関名：中頭病院 (担当者：諸見里秀和) 機関名：那覇市立病院 (担当者：又吉隆) 機関名：南部徳洲会病院 (担当者：平安名常一) 機関名：ハートライフ病院 (担当者：高良誠) 機関名：大浜第一病院 (担当者：森田光)
本研究の目的	本研究の目的は、AI技術を用いた肋骨骨折同定ソフトウェアによって、多施設から収集した肋骨骨折症例の画像を解析し、肋骨骨折の検出率、偽陽性・偽陰性の因子を調査することです。
研究実施期間	研究機関の長の許可日～ 2025年 3月 31日
調査データ(該当期間)	2004年8月から2022年8月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	●対象となる患者さま CT検査にて肋骨骨折を指摘された18歳以上の患者様 ●利用する試料・情報 情報：CT画像データ、病歴(年齢、性別、受傷からの期間(3週間以上/未満)、検査日、受傷部位)等
試料/情報の機関間の提供および提供方法	情報の提供を行う機関から研究機関への情報の提供は、パスワードでロックをかけたハードディスクで行います。また、画像解析のため、外部の検査機関に画像データ等を提供しますが、個人を特定できる情報の提供は行いません。
試料・情報の二次利用	本研究の結果次第ではありますが、情報の一部が肋骨骨折同定に関する実用的なAI技術の開発やそのほかの研究に二次利用される可能性があります

	ます。その場合は再度倫理審査に諮るなど、必要な手続きをとって利用します。
個人情報の取り扱い	本研究で使用する情報は、個人情報とは関係のない符号または番号を付して匿名化し、放射線診断治療学講座医局で管理します。匿名化に用いる対応表は各機関の担当者が保管し、機関間での授受は行いません。論文作成時、また学会発表時には個人が特定できる情報は一切用いません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究は琉球大学大学院医学研究科放射線診断治療学講座への寄付金により研究を行います。 本研究は琉球大学利益相反審議部会の利益相反手続きに従い、必要事項を申告し、その審議と承認を得るものとします。
お問い合わせ先	電話：098-895-1162（内線 2401） 担当者： 嘉陽安美子 （琉球大学病院放射線部 医員） 西江昭弘 （琉球大学大学院医学研究科 放射線診断治療学講座 教授）